

# History

明治時代のチェリーマウンテン(桜山)ホテルを  
横浜の思い出の歴史としてお伝えしたい。

明治時代の 山手の丘には  
星のかたちの 屋根をつけた小さな木造の宿がありました。  
その名は、〈桜山ホテル チェリーマウンテン〉。

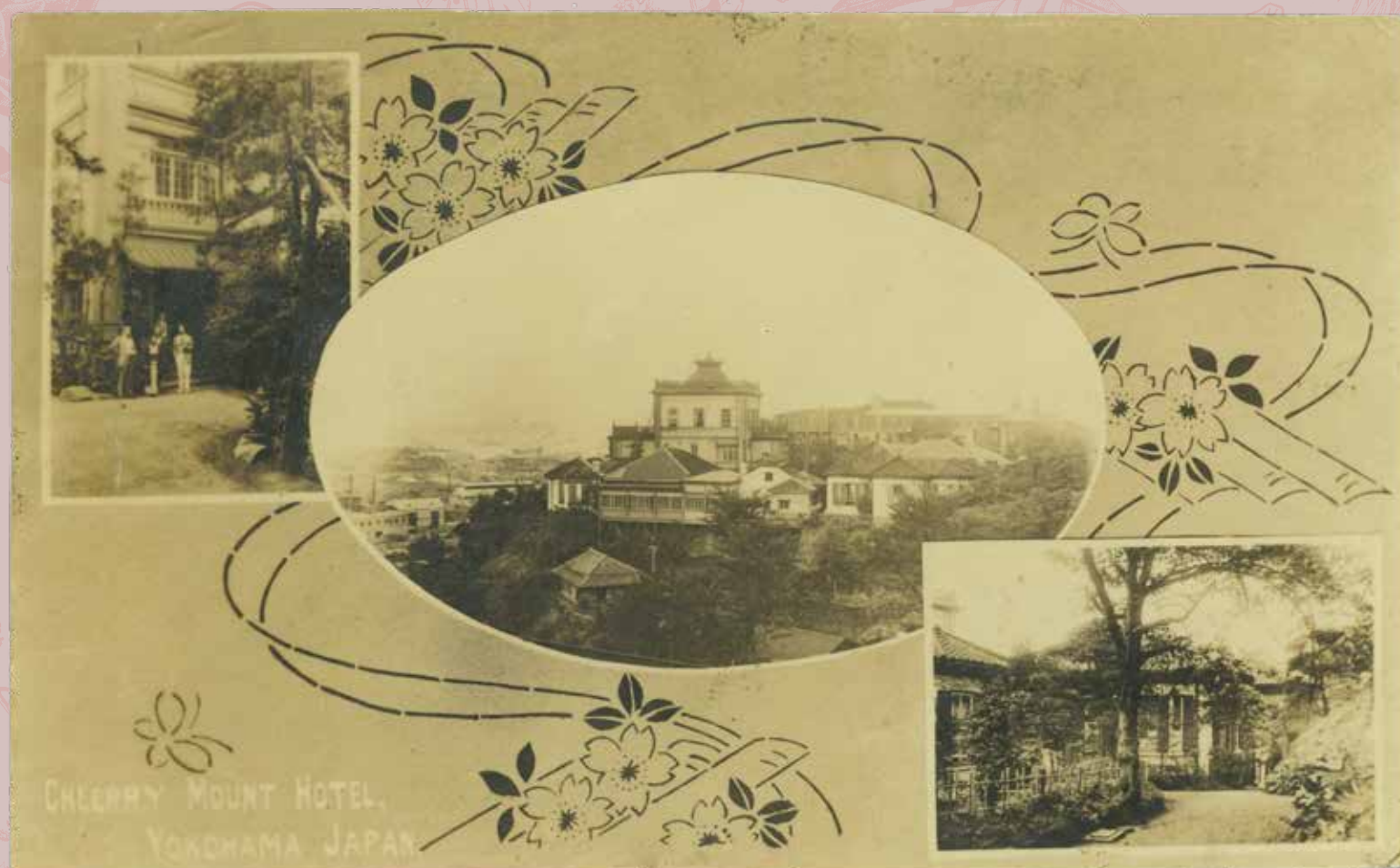
貿易のために開かれた 居留地として世界のお客様に愛された場所。  
目の前には、横浜の桜が咲き広がり  
それは それは 美しい、夢のような丘でした。

桜山ホテルを イギリス人から受け継いだ“マサさん”という一人の女性。  
単身でアメリカへ渡ったマサさんは 帰国後、桜山ホテルの経営者となりました。

大正時代、恐ろしい関東大震災が山手の丘を 襲いました。  
あの美しい、山手の桜と 桜山ホテルは跡形もなく 消え去ってしまったのです。

ここ〈桜山ホテルカフェ〉は マサさんが養子として迎え入れた  
男の子と女の子が 幸せに暮らした家。

三溪園の そばに佇む 桜山ホテルと桜がつかないだ、  
二人の養子の物語を横浜史の ひとひらとして、語り伝えたい。  
そんな思いから生まれた、小さな古民家カフェです。



今年が関東大震災からちょうど100年。当時、横浜山手の丘に佇んでいたチェリーマウンテン(桜山)ホテル



明治時代チェリーマウンテンホテル経営者のマサさん(左)と家族